



# 町長白誌



町長日誌の第18号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

1月21日(金) AM 7:30

今年初めての町長日誌です。本年もどうぞよろしくお願いたします。

夜半から吹雪模様で天気予報では大荒れとのこと、1年前の3日間の猛吹雪を思い出します。昨年は、「災害」の多い1年で興部も然ることながら新潟地震やスマトラ沖地震による世界的規模の津波被害など人間をあざ笑うかのような自然災害が起きています。自然災害と言っても地震や津波は自然現象ですが、結果として人の造った建物や道路、川、乗り物など普段私たちの生活に欠かすことのできない物(文明)により被害が増大しているという皮肉な事実があります。本町でも、昨年台風18号により約2日間の停電がありましたが、酪農家は搾乳ができませんし、一般家庭では水洗トイレやFF式ストーブも使えなくなります。町として、企業として、家庭としてそれぞれの「備え」を考え、取り組む必要があります。

12月28日(火) 私事ですが、お昼頃、家内から「おばあちゃんの様子が変なので国保病院の佐々木院長先生に往診をお願いした」との電話、直に助役に後を頼み自宅へと帰りましたが、午後1時過ぎに院長から「臨終」が告げられました。

94年の人生を我が家のベッドで終える大往生でした。ばあちゃんは、私が町長になった頃から飲食が口からできなくなり、直接胃に液体栄養食を入れる施術を受け国保病院に入院していましたが、他に容態が悪いところがないので自宅で介護することにしました。「在宅介護」を決断したのは母です。町の介護支援により電動介護ベッドやマットのレンタルがあります。週1回ヘルパーさんや訪問看護の支援を受け入浴や健康チェックをしてもらいます。介護制度によりかなり自宅での介護はし易くなりましたが、おしめの交換・体の清拭・目や口の手入れ・頭髪や爪の手入れ、そして1日何度も体位交換をして床ずれを予防します。日中は勿論で夜も午後8時・11時・午前2時というように介護するということは、大変なことです。寝たきりのお年寄りには背中からお尻にかけて肉が無く、直に床ずれになり中には骨が見える場合も少なくありません。ばあちゃんは1年半寝たきりでしたが、床ずれはできませんでした。母の小まめな介護のなせる業です。母が倒れるのではと思ったほどです。

痴呆・寝たきりのお年寄りを抱えている家庭では、このようなご苦労をされていることと思います。そして、どのご家庭でもこの可能性があるのですが在宅での介護ができる割合は限られています。そのために国保病院で療養型のベッドを33床用意しています。また、安定していて医療行為はいらないが介護の必要な時は、ホームヘルパーや「きらり」にある支援ハウスでお世話できるようになっていますので、まずはご相談ください。

1月19日(水) 午後3時から公民館において自治会連合会との懇談会が行われ、合併や広域連携をはじめ様々な意見交換ができました。特に、災害対策について大変多くのご意見が出されました。町としても17年度に対策計画を考えたいので、自治会としても避難通知・避難場所・非常食や常備品などについての提言をしていただくようお願いをしました。「住民の生命財産を守る」ことが行政の責任ですから、知恵をしぼって「備え」作りに取り組みます。

新年度予算案がほぼ固まりました。1億数千万減額となりそうですが新年度の町の運営はできますのでご安心ください。今年も元気でがんばりましょう！

町長のメールアドレスは、[mayor@town.okoppe.hokkaido.jp](mailto:mayor@town.okoppe.hokkaido.jp)です。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 2・2131です。